

事業所名 放課後等デイサービス あびりてい2nd

支援プログラム

作成日 令和7年 3月 7日

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|---|--|-----|---|-----|-----|----|------|-------|-----|-----|----|-----|-----|----|
| 法人(事業所)理念 | 事業所は、生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切な効果的な指導及び一人ひとりを尊重した支援を行うものとする。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 支援方針 | 1.一緒に作戦会議を行う場所作りをします 成功体験や失敗体験、やりたいこと、うまくいかないことを経験してもらいます。そして、どうしたら上手に表現できるか、どうしたら上手に相談できるか、どうしたら仲良くなれるかなど、生まれ持った能力、才能、強みを生かすために、スタッフと子ども達が一緒になって作戦会議を行う場所を作ります。そこで新しい発見や経験をしてもらい、選択肢を広げ、子ども達が社会生活に溶け込んでゆける準備を整えていきます。 2.理解を深めます ユニークな生き方や個性を認めます。遊びの中にもルールがあることを楽しみながら学び、発達特性等の理解を深め、発達段階に応じ、学校でのルールや他者との付き合い方、社会でのルールなど生活に必要な「人間力」を身につけてもらいます。 3.人と自然に触れ合う環境を作ります 異年齢の子との交流、地域社会との交流を行い人と人との出会い、つながりを大切に、また自然と触れ合う環境を整え、「生きる力」を身につけられるようサポートします。不登校の子ども達やネット依存、ゲーム依存の子ども達も増加傾向にある中、自然に触れ、少しでも家庭外で過ごせるようサポートできればと考えています。また、看護師経験を踏まえ心のケアも併せて行います。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 営業時間 | 平日 | 9時 | 00分 | から | 17時 | 00分 | まで | 提供時間 | 平日 | 14時 | 00分 | から | 17時 | 00分 | まで |
| | 学校休業日 | 9時 | 00分 | から | 17時 | 00分 | まで | | 学校休業日 | 10時 | 00分 | から | 16時 | 00分 | まで |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | <ul style="list-style-type: none"> 自分の体について理解を深め、体調管理やケア方法を学びながら、自己管理能力を向上させる。 健康的な生活習慣(食事、睡眠、運動など)を身につけ、日常生活に取り入れる 危険なことや物、場所について認識を高め、事故やトラブルを避けるための注意力を育む 自発的に挨拶をすることで、社会的なコミュニケーション能力を養い、他者との良好な関係を築く | | | | | | | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> 健康な体づくりを目指し、体力、筋力、柔軟性、体幹をバランスよく向上させることで、日常生活の活動を支える体を作る 意欲的に運動に取り組む姿勢を養い、楽しさや達成感を感じながら積極的に運動に参加する 運動を通じて他者と協力し、コミュニケーションを深め、チームワークや社会的なスキルを育む 正しい姿勢や体の使い方を学び、運動におけるパフォーマンス向上や怪我の予防につなげる | | | | | | | | | | | | | |
| | 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> 集中できる時間を延ばすことを目指し、注意力を高め、長時間の活動を維持できるようになる 課題に対して自分で考え、問題解決の方法を見つける力を養い、独立して取り組めるようになる 「ありがとう」「ごめんね」などの感謝や謝罪の言葉を適切なタイミングで言えるようになり、社会的なマナーを身につける 相手の気持ちや状況に応じた行動を学び、他者との関わりの中で柔軟に対応できるようになる | | | | | | | | | | | | | |
| | 言語・コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> 聞いた言葉を覚え、理解する力を高め、語彙力や聴解力を向上させることで、コミュニケーションの基盤を強化する 言葉の数を増やし、日常的に使用できる語彙を広げることで、より豊かな表現力を養う 相手に合わせた適切な伝え方を学び、状況や相手の理解度に応じて自分の意図を効果的に伝えられるようになる 相手の話を最後までしっかりと聞くことで、相手の意図を正確に理解し、円滑なコミュニケーションを実現する | | | | | | | | | | | | | |
| | 人間関係・社会性 | <ul style="list-style-type: none"> 他者との関わりを増やし、集団の中で積極的に活動することで、協力やチームワークを育み、社会性を向上させる 集団内でのルールを理解し、他者と共にルールを守ることの重要性を学び、集団活動を円滑に進める力を養う 自分の気持ちをコントロールする方法を学び、感情の自己管理能力を高め、冷静で適切な行動ができるようになる 相手の気持ちや行動を想像し、相手の立場に立って考えることで、共感力や対人スキルを向上させ、円滑な人間関係を築く | | | | | | | | | | | | | |
| 送迎支援・家族支援 | 送迎支援 | 有 | 無 | 事業所で気づいたことや重要な情報は、速やかにご家族に報告し、共有する。常に課題や進捗状況を共有し、本人にとって最適な支援が継続的に提供できるよう、スタッフ間で日々連携を深めている。さらに、希望されるご家族には療育中の支援の見学を提供し、支援内容や方法について直接理解していただける機会を作っている。 | | | | | | | | | | | |
| 地域支援・地域連携 | 地域支援：地域の行事に積極的に参加し、地域活動への参加を促進することで、地域との繋がりを深める。社会の中で自分の役割を理解し、その役割を果たすことの重要性を学ぶ。これにより、地域社会の一員としての意識を育み、積極的に活動に参加する姿勢を養う。 地域連携：学校や園、他の療育施設と密に情報を共有し、各施設の専門的な知見を活かしながら、利用者にとっての「最善の支援」を追求する。定期的な連携や意見交換を行い、個別のニーズに最適な支援方法を見つけ、調整を行いながら支援を提供する。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 移行支援 | 児童の課題解決や生活環境での困りごとの減少に応じて、個別の状況を踏まえながら療育サービスの提供量を柔軟に調整する。具体的には、児童の成長や進捗に応じて、支援が必要な時間や頻度を見直し、最適な支援を継続的に提供できるようにする。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 職員の質の向上 | 感染予防対策に関する研修：年2回、心肺蘇生・AEDに関する研修：年1回、虐待防止に関する研修：年1回、意思決定支援に関する研修：年1回、ハラスメント研修：年1回、行動制限最小化(身体拘束)に関する研修：年2回、業務継続計画：年1回、避難訓練(地震・火災・不審者)：月1回、各種外部研修受講：月1回 | | | | | | | | | | | | | | |
| 主な行事等 | 誕生日会、新入生歓迎会、端午の節句、七夕、避暑地遊び、茶話会、夏祭り、各種工場見学、博物館見学、プラネタリウム、熊本城見学、コスモス見学、ハロウィン、お月見、紅葉狩り、年賀状作り、クリスマス、大掃除、初詣、正月遊び、節分、バレンタインデー、お花見、ひな祭り、ホワイトデー等 | | | | | | | | | | | | | | |